SAMURAI & J PARTNERS

＜通期＞
決算補足説明資料
2019年12月期

＜JASDAQグロース　証券コード：4764＞

2020年2月13日
SAMURAI&J PARTNERS株式会社

1.当社グループの体制

当社グループは、事業セグメントを**「投資銀行事業」**と**「ITサービス事業」**に区分しております。

SAMURAI & J PARTNERS

SAMURAI＆J PARTNERS

- ✓ SAMURAI&J PARTNERSグループ全体の事業運営・推進

ITサービス事業

2018年1月
子会社化

SAMURAI TECHNOLOGY

SAMURAI TECHNOLOGY

- ✓ ISO27001認証取得
- ✓ 受託開発からオリジナルパッケージ提供まで幅広くITソリューションを提供

- ✓ 圧縮転送技術（特許）
- ✓ 「ミドルウェアソリューション」の主力製品である「Fast Connector」シリーズの販売・保守サービスの提供

2018年12月譲渡

投資銀行事業

2017年10月
子会社化

SAMURAI証券

SAMURAI証券

- ✓ 第一種・第二種金融商品取引業
- ✓ 電子申込型電子募集取扱業務
- ✓ クラウドファンディングサイト「SAMURAI FUND」※を主軸としたファンド組成

※2020年1月8日にサイトリニューアルに伴いサイト名変更

2017年11月
設立

SAMURAI ASSET FINANCE

SAMURAI ASSET FINANCE

- ✓ 貸金業・宅地建物取引業
- ✓ 不動産担保、株式担保などのスキームによる融資活動を実施

2019年12月期の主な取組み

2.主な取組みとトピックス

年月			主な取組み	トピックス
2019年	2月	投資銀行	投資ファンドへ出資（12月のファンド解散により収益化）	
	3月	IT	「Fast Connectorシリーズ」ライセンスの受注	**中期経営計画「SAMURAI TRANSFORMATION」策定**
		IT	大手自動車メーカー向けのライセンスの追加受注	
		投資銀行	Jトラストグループと業務提携締結	
		財務	第三者割当増資の決議（50億円）	
	4月	投資銀行	第三者割当増資の引受（約4億円）	**定時株主総会後、当社代表取締役変更**
	6月			SAMURAI証券の代表取締役変更
	7月	投資銀行	第三者割当増資の引受（約2.5億円）	**SAMURAI ASSET FINANCEにて債権取立遅延発生**
		投資銀行	保有株式の譲渡（譲渡額約2.4億円）	
		投資銀行	国外非上場企業へ株式担保による融資実行（3.5億円）	
		投資銀行	**大手アミューズメント企業とアドバイザリー契約締結（初回報酬1.5億円）**	
	8月			SAMURAI証券移転（虎ノ門）
	9月	投資銀行	日本保証等と業務提携の締結	
	10月	投資銀行	maneoマーケットと業務提携に締結	
		IT	「FC Replicator2」ライセンスの追加受注	
		投資銀行	国内非上場企業へ債務保証付き融資実行（1億円）	
		投資銀行	保有新株予約権の譲渡（譲渡額約8千万円）	
	11月			子会社DDインベストメントの清算結了
	12月			子会社SAMURAI CAPITAL SINGAPOREの清算結了

貸倒引当金繰入額を計上

2019年12月期の業績結果

3.連結業績サマリー（対前期比）

SAMURAI & J PARTNERS

（単位：百万円未満切り捨て）

	2019年1月期	2019年12月期	増減額
売上高	530	827	+297
営業損失（△）	△245	△270	△25

- ✓ 2019年12月期の売上高は、**827百万円**となり、**297百万円の増収**。主な要因は、投資有価証券の売却額（298百万円）及びアドバイザリー契約の初回報酬（150百万円）の影響大。
- ✓ 2019年12月期の営業損失は、△270百万円となり赤字幅拡大。主な要因は、2Qに発生した債権取立遅延による貸倒引当金繰入額（237百万円）の計上並びにクラウドファンディング分野への先行投資（40百万円）によるもの。

※当連結会計年度より決算期（事業年度末日）を12月31日に変更しております。

4.連結業績サマリー（四半期別）

SAMURAI & J PARTNERS

（単位：百万円未満切り捨て）

	1Q	2Q	3Q	4Q※	累計
売上高	141	128	497	60	827
営業利益	△22	△365	176	△59	△270

- ✓ 2019年12月期3Q（2019年8月1日～2019年10月31日）の売上高は**497百万円と大幅に増収**。主な要因は、投資有価証券の売却額（249百万円3Q時点）によるもの。また、売上高の増加に伴い、3Qの営業利益は**176百万円と大幅に増益**。アドバイザリー契約の初回報酬（150百万円）による影響大。
- ✓ 2019年12月期2Qに発生した債権取立遅延による貸倒引当金繰入額（256百万円2Q時点）が影響し、赤字幅拡大。

※当連結会計年度より決算期（事業年度末日）を12月31日に変更しているため、2ヶ月間の実績

5.セグメント別業績-投資銀行事業

SAMURAI & J PARTNERS

（単位：百万円未満切り捨て）

	1Q	2Q	3Q	4Q※	累計
売上高	64	72	437	27	602
営業利益	8	△320	213	△17	△115

- ✓ 2019年12月期における投資銀行事業の業績は、3Qに投資銀行分野が貢献したことにより、売上高は**602百万円**大幅にと伸長。
- ✓ しかしながら、2Qに発生した債権取立遅延による貸倒引当金繰入額（237百万円）やクラウドファンディング分野の成長に向けた先行投資により営業損失**△115百万円**。
- ✓ なお、4Qにおいて投資ファンドの解散により営業外収益（匿名組合投資利益）89百万円、営業外費用（有価証券売却損）67百万円を計上。

※当連結会計年度より決算期（事業年度末日）を12月31日に変更しているため、2ヶ月間の実績

6.セグメント別業績-ITサービス事業

SAMURAI & J PARTNERS

（単位：百万円未満切り捨て）

	1Q	2Q	3Q	4Q※	累計
売上高	77	56	59	33	225
営業利益	33	8	17	1	59

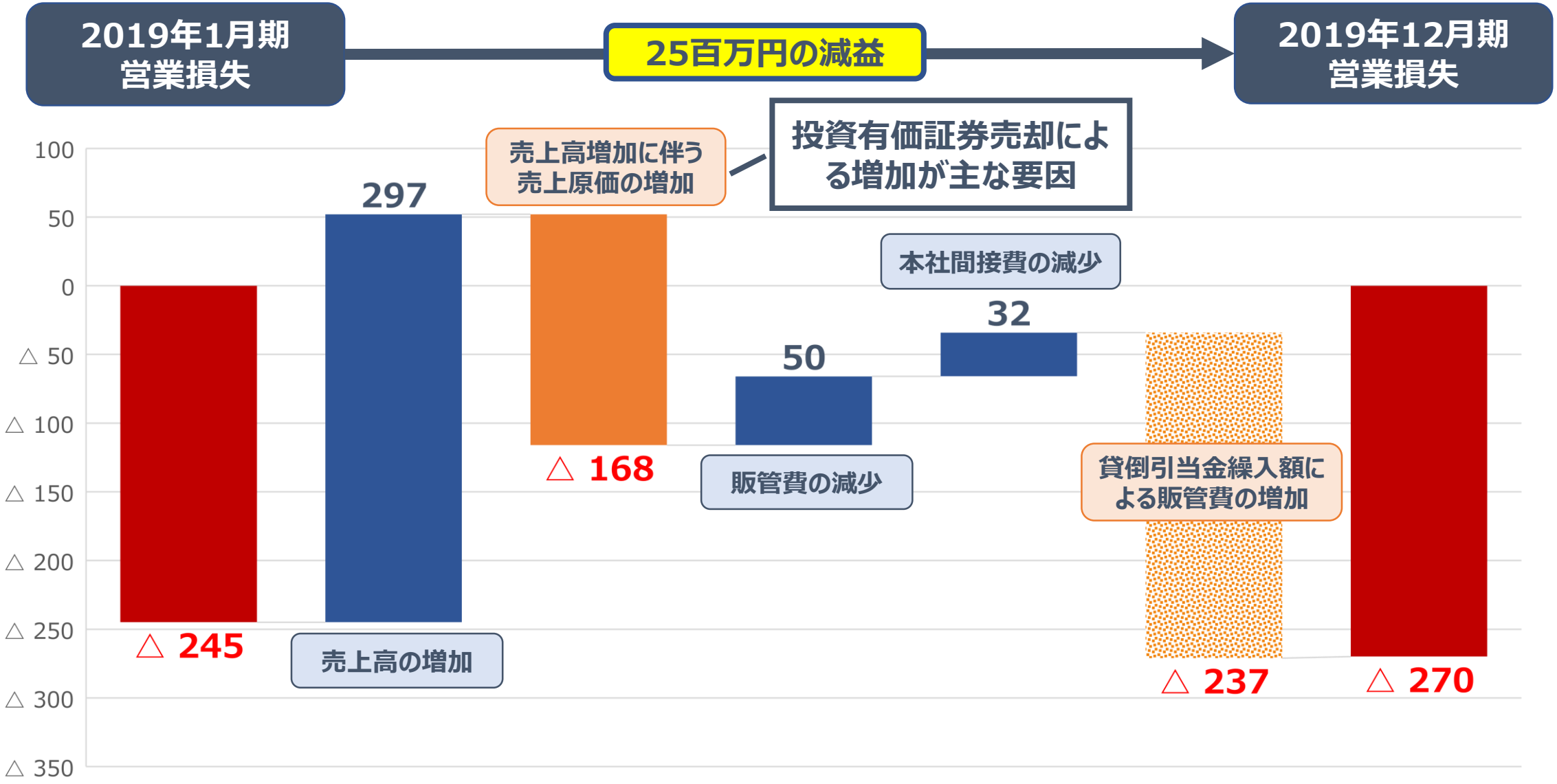
- ✓ 2019年12月期におけるITサービス事業の業績は、売上高は**225百万円**、営業利益**59百万円**と堅調に推移。
- ✓ 増収増益の主な要因は、ミドルウェアソリューションにおける大手自動車メーカーの大型受注や、システム開発ソリューションにおける新元号対応、消費税率変更等の特需の発生によるもの。その他、Web戦略の効果が顕在化し、ライセンス契約及び保守サポートの年間契約が堅調に推移。

※当連結会計年度より決算期（事業年度末日）を12月31日に変更しているため、2ヶ月間の実績

7.営業利益増減分析-対前期比

SAMURAI & J PARTNERS

（単位：百万円）



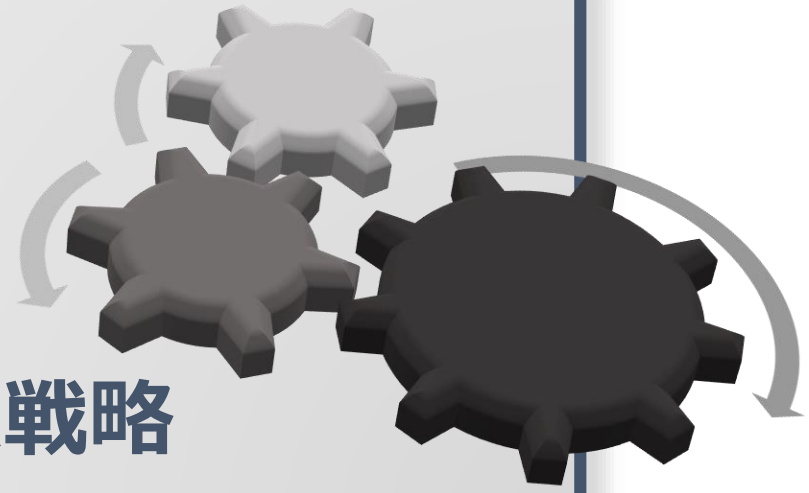
今後の主な取組み

8.中期経営計画の基本戦略

当社グループは、今後予想される市場環境の変化に対応するため、2019年に2021年度をゴールとする3カ年の中期経営計画**「SAMURAI TRANSFORMATION」**を掲げております。
以下を基本戦略とし、当社グループ一丸となり取り組んでおります。

【基本戦略】

1.既存事業の成長戦略
2.安定収益基盤の構築戦略
3.グループコラボレーションによる成長戦略



2019年度 → 2020年度 → 2021年度

9.事業別2020年12月期の取組み

✓ 当社グループでは、**着実な中期経営計画の推進**が必須であると認識しております。

投資銀行事業-投資銀行分野

✓ クラウドファンディングを活用した資金調達の支援により投資領域の拡大

✓ アライアンス強化により新規投資案件の開拓を推進

ITサービス事業

✓ 採用及び人材開発等によるSES及び受託開発・運用・保守の強化

✓ 新規収益モデル事業の探索を開始し、業務効率化ソリューションの構築

投資銀行事業-クラウドファンディング分野

✓ 案件実績を着実に積み上げ、認知度及び信用力の向上を図る

✓ 業務提携先を開拓し、クラウドファンディング商品ラインナップの拡充

投資銀行事業-ノンバンク・不動産分野

✓ 融資の審査体制の再構築

✓ 収益性の高い不動産の新規取得

DISCLAIMER

SAMURAI & J PARTNERS

本資料は、当社の事業及び業界動向についての現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しております。これらの予想等に関する表明は様々なリスクや不確実性を内包するものとなります。また、掲載された情報の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に掲載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。

本資料に関する問合せ窓口
経営管理部 IR担当
問合せページ：https://www.sajp.co.jp/ir_inquiry/